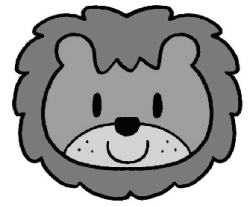


らいおんぐみだより



尚徳福祉会 坂戸保育園 2020.2

例年より暖かく感じていた冬も、寒さが増してきました。先日、氷が出来るか実験をしてから、温度計を気にするようになり「外の気温は何度だろう？」と、温度計を外に出して何度か確かめる姿がありました。実験をする時の子ども達は目を輝かせ興味津々です。機会がありましたら、また氷作りをしてみたいと思います。



鬼のお面制作



鬼のお面制作をしました。ハサミを使って画用紙に目・口・鼻を切る時は、目と目が離れすぎてしまったり、顔が端に寄りすぎたりと苦戦しながら作る子どもたち。ズレないように画用紙を顔に当てながら「ここが目で、鼻で」と、場所が分かるように手で押さえて、印をつけて切る子や、「スタンドガラスの時みたい」と、作り方を思い出しながら切る子もいました。画用紙を2枚貼り合わせて縦にお面を作っていたのですが「被ってみよう」と、子どもが被ろうとすると「あれ、入らないよ」「・・・(;´∇`)」子どもたちの頭囲は大きくなりましたね！笑

今度は画用紙を横にして再挑戦。鬼の角も1本や2本の子、大きい角小さい角など角だけでも色々な形があり、髪の毛の部分は切った画用紙を一つ一つクルクル巻いてパーマをかけました。

節分の日、らいおん組が鬼のお面を被り、見つからないようにそーっとくま・きりん組の所へ行き、ドアを“ドンドン”と叩いて忍び込み、豆まきごっこを楽しみました。



なかよしランド

縦割り活動で作ってきたお店屋さん。グループ活動が終わると「青グループは電車作ったよ」「黄色グループはドーナツ・チョコ」「ピンクグループはお好み焼」など報告し合い、他のグループはどんな物を作っているのか興味を持ち、お店を開く日を楽しみにしていました。なかよしランド当日では、張り切ってお店屋さんになり「いらっしやいませ～」「こちらへどうぞ」など、任された役割をしっかりと取り組み、やりとりを楽しんでいました。お買い物へ行く時は、ペアの友達と一緒に回り、お兄さんお姉さんとしてリードしてくれました。お店は忙しい時や暇な時もあったようですが、終わってみると「楽しかった！」「でも疲れたあ」と話していました。仕事は違うけど「毎日お父さんお母さんは仕事を頑張っているんだね。」と、子ども達と話し、仕事をしている人の気持ちや有り難さを知る経験になったようです。



給食当番～就学前編～

給食当番の仕事が変わりました。今までは当番が給食を配っていましたが、今度は就学に向けて当番が給食をよそっています。当番ではない子どもたちは、お盆を持って給食をもらいにいっています。

当番は「普通ですか？少な目ですか？」と聞いて、量を調節し、当番から給食を「どうぞ」ともらったら「ありがとう」と、言葉を伝えられるようにしています。1日毎、担当する物が変わるようにしているので「明日はご飯・その次はお味噌汁だ」と、楽しみにしているようです。

お味噌汁は上の汁だけよそい、具無し！！なんていう事もありましたが、覚えると上手によそっています。

